

1. 被服分野における主体的・対話的で深い学びの授業計画

この単元で育みたい力は、授業で学んだことを日常生活で実践する力、活用する力とした。

そのための単元構成の工夫点は、以下である。

- ・単元の最初に実習を行い、実体験をもとに興味と疑問等を持たせて座学を行うという単元構成にする。
- ・座学で得た知識と日常生活とのつながりを実感させるために、製作物のどのような点と知識が結びついていのかを毎次振り返る。
- ・主体的で深い学びにするために、問いを工夫し、毎時振り返りの時間を確保する。
- ・単元のまとめでは、既習の知識を活用して、オリジナルの製作物をプレゼンすることで、知識との結びつき、活用を確認する。

2. 公開授業の研究協議において出た意見

主体的・対話的で深い学びについて

- ・振り返りの時間を十分確保することが大切である。
(1時間の授業の中に何度も「振り返り」があり、この積み重ねが「深い学び」になっていく)
- ・本時の流れを工夫することで、より深い学びにつなげることもできる。
- ・生徒のリアルを追求し、リアリティのある題材を設定することが重要である。
- ・身につけたい力について、単元全体を通して構成することが重要である。
- ・授業の構成、単元全体と授業のつながり、生活への振り返りが深い学びにつながっていく。

3. 公開授業を終えて

キーワード 「安心・安全 健康 基本 誠実」

学習と日常生活を結びつけ、学習したことを生活に活かしてほしいという想いのもと、授業を構成した。私が授業を構成する上で、改めて大切だと感じたことは、生徒の実態を把握し、生徒と誠実に向き合うことであった。生活者として主体的に学ぶことのできる授業構成を試みたが、最初に思い描いたような授業はできなかった。しかし、目の前の生徒の実態を把握し、生徒に応じた手法で授業を構成することが大切だと改めて感じることができた。

また、「安心・安全・健康」が、これからの生活者として大切にしてほしい観点であることも実感した。さらに基本的なことではあるが、学校、教室も安心、安全でなければならないということも強く感じた。主体的に学ぶ中で対話的な学びがあり、結果深い学びになるということは、何かに挑戦をすることでもあると考える。挑戦をするためには、やはり基礎の安心・安全が必要不可欠である。私が今回この事業に挑戦させていただき、身をもって実感することができた。指導主事が安心できる基礎を築いてくださり、挑戦への背中を押してくださったこと、挑戦するための環境を整えてくださったこと、まさに安心・安全な基礎があったからこそ挑戦することができた。主体的・対話的に学ぶために必要である安心・安全な基礎や環境を整えることも、授業者の役目であるということに気づくことができた。

今回の事業に参加させていただき、このような基本的なことしかまとめることができず、教科の先生方には参考になるような授業ではなかったと感じる。しかし、私自身が基本に立ち返ることができ、基礎・基本を改めて振り返ることができた。今後も継続して自己研鑽、授業研究に励み、地区会や校内研修を活用し、今回果たせなかった役目をいつの日か果たしたい。このような私に、今回機会を与えてくださったことに感謝したい。さらに校内を始め、様々な方に多くのご支援をいただいた。関わってくださった方々に心から感謝する。